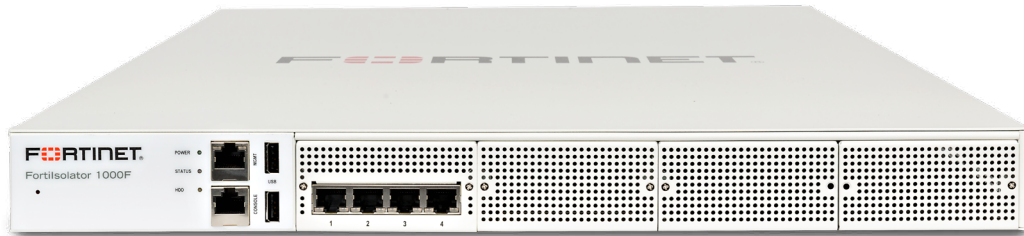


Fortisolator

Fortisolator 1000F / VM



フォーティネットのブラウザ分離プラットフォームである Fortisolator は、フォーティネット セキュリティ ファブリックとの統合によって新たなレベルの ATP（高度な脅威保護）を提供し、安全で安定したインターネット環境を維持すると同時に、業務目的の共有リンクや Web コンテンツへのアクセスに対するニーズに対処します。Fortisolator は、ユーザーのブラウザと Web コンテンツの間に「空間」を設けることで、ユーザーが危険にさらされることなく Web コンテンツにアクセスできるようにします。



厳格なセキュリティを維持しながら、危険性の疑われるコンテンツへのアクセスを可能に

ネイティブに統合されるため、危険性の疑われるコンテンツに標準ブラウザを使ってアクセスでき、ユーザーのデスクトップに侵入されることなくゼロデイの感染を阻止します。



セキュリティ ファブリックで幅広い攻撃対象を保護

FortiGate および FortiMail との統合によって、ネットワークレイヤー、アプリケーションレイヤー、エンドポイントデバイスに対する高度な標的型攻撃からの防御が実現します。

ハイライト

問題点

- Web、電子メール、あるいはダウンロードしたPDFファイルなどによって送り込まれるゼロデイマルウェアやフィッシングの脅威は、データの喪失、侵害、ランサムウェアによる被害につながる恐れがあります。

解決策

- Fortisolatorを導入すると、Webコンテンツはリモートの一時的なコンテンツで実行されてからユーザーに提示されるため、あらゆる脅威の分離が可能になります。

主な利点

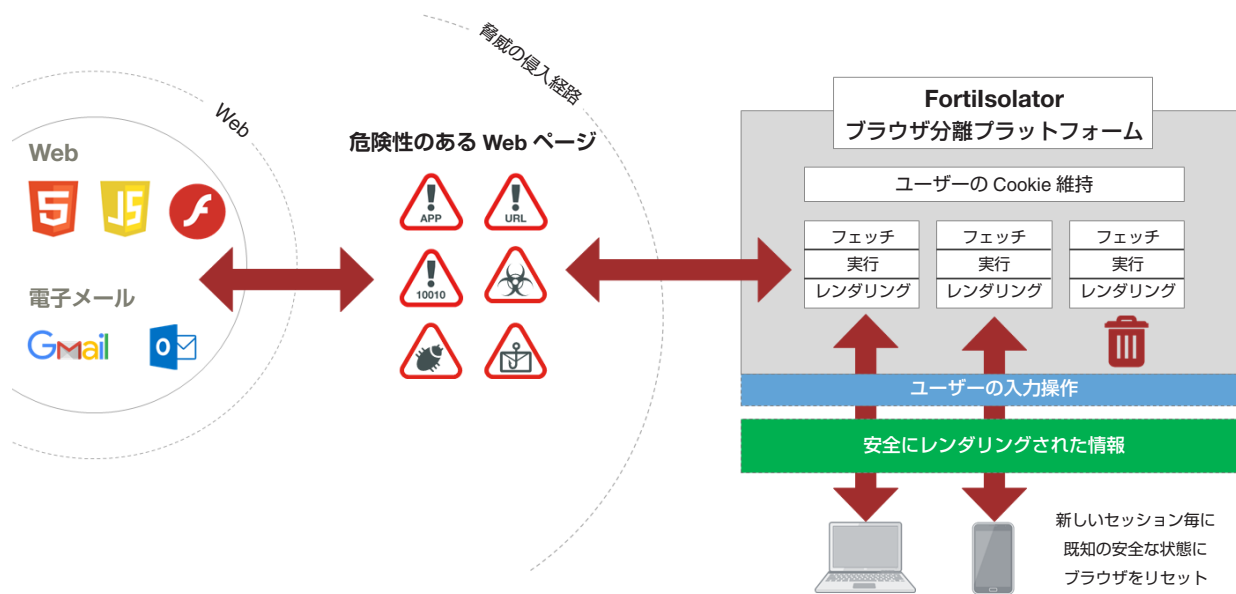
- 既知および未知のマルウェア、ランサムウェア、その他のゼロデイの脅威からの保護
- セキュリティを確保しながらURLにアクセスできるため、ユーザーの生産性が向上

ハイライト

製品の主な機能と特長

クライアントレスのブラウザ分離ソリューションである Fortisolator は、危険性の疑われるコンテンツへの通常のブラウザによるアクセスを可能にし、モバイルデバイスに対する攻撃のリスクを解消します。ユーザーへの被害を最小限に抑制する設計がなされており、HTML 5 対応のすべてのブラウザ（Edge、Chrome、Safari、Firefox など）との相互運用が可能であるため、エンドユーザーはデバイスのクライアントやプラグインソフトウェアのインストールが不要です。

Fortisolatorは、信頼できる実行コンテナを介して危険性の疑われるコンテンツにアクセスし、視覚的にレンダリングされたWebページをユーザーに提示します。ブラウザのセッション終了時にコンテナ内のコンテンツは破棄されるため、ドライブバイ攻撃や水飲み場型攻撃を阻止できます。このようにレンダリングされたWebページであっても、ビデオを再生する、リンクをクリックする、PDFを開くといった操作が可能になると同時に、レンダリングプロセスによってコンテンツがユーザーのシステムに入り込むことを防止します。



重大な脅威ベクトル

電子メールは、マルウェア（92.4%）やフィッシングなどのソーシャルエンジニアリングを使った攻撃（96%）¹の最大の攻撃ベクトルであり、その多くに Web サイトへのリンクが使用されます。既知の悪意あるリンクや未評価のリンクをフィルタリングする方法はありますが、未評価のリンクは生産性に影響する恐れがあります。セキュアメールゲートウェイ、ファイアウォール、セキュア Web ゲートウェイ、デス

クトップクライアントと Fortisolator を併用することで、セキュリティを維持しながらユーザーのあらゆる URL へのアクセスを許可し、生産性を向上させることができます。

¹ ベライゾン 2018 年版データ漏洩 / 侵害報告書
https://www.verizonenterprise.com/resources/reports/rp_DBIR_2018_Report_en_xg.pdf

技術仕様

Fortisolator 1000F	
ハードウェア仕様	
10 / 100 / 1000 インタフェース (カッパー、RJ45)	4
内蔵ストレージ	1 x 1 TB
形状	1 RU
電源	単一 (オプションで冗長化可能)
システム性能	
ブラウザの最大同時セッション数	250*
サポートするブラウザ	Chrome、Firefox、Microsoft Edge、Microsoft Internet Explorer、Safari、Opera
統合方法	プロキシ、URL リライト、トランスペアレントインライン
パフォーマンス (メッセージ数/時:100 KB のメッセージサイズに基づく、キューイングがない場合)	
ブラウザの最大同時セッション数	250
サイズ	
高さ x 幅 x 奥行	44 x 438 x 580 mm
重量	11.4 kg
動作環境	
電源	100 ~ 240 V AC、50 ~ 60 Hz
最大電流	110 V / 5.0 A、220 V / 3.0A
必要電源 (最大)	117 W
消費電力 (平均)	67 W
放熱	398 BTU/h
湿度	5 ~ 90% (結露しないこと)
動作温度	0 ~ 40 °C
保管温度	-40 ~ 70 °C
準拠規格・認定	
	FCC Part 15 Class A、C-Tick、VCCI、CE、UL / cUL、CB、BSMI、RoHS

* セッションの20%はビデオセッション

Fortisolator VM	
技術仕様	
サポートするハイパーバイザー	VMWare 6.0 / 6.5 KVM QEMUバージョン 0.12.1 以降
仮想 CPU 数 (最大)	無制限
仮想 NIC 数 (最小 / 最大)	3 / 3
仮想マシン用ストレージ容量 (最小 / 最大)	500 MB / 4 TB
仮想マシン用メモリ (最小 / 最大)	8 GB / 128 GB
システム性能	
ブラウザの最大同時セッション数	VM ライセンスでは、検証用に 5 つの同時セッションが可能。 50 セッション単位の年間サブスクリプション (Web Isolation Bundle) を追加可能。
サポートするブラウザ	Chrome、Firefox、Microsoft Edge、Microsoft Internet Explorer、Safari、Opera
統合方法	プロキシ、URL リライト、トランスペアレントインライン



フォーティネットジャパン株式会社

〒106-0032

東京都港区六本木 7-7-7

Tri-Seven Roppongi 9 階

www.fortinet.com/jp/contact

お問い合わせ